

令和3年6月14日

埼玉県知事

大野 元裕 様

埼玉県議会公明党議員団団長

西山 淳次

「生理の貧困」に関する緊急要望

新型コロナウイルス感染症対策に、大野知事をはじめ執行部の皆様が懸命に取り組まれていることに敬意と感謝を申し上げます。

経済的な事情から生理用品を購入することが難しい「生理の貧困」が、コロナ禍で顕在化している。民間団体の調査では、5人に1人が「金銭的な理由により生理用品の入手に苦労した」との回答をしている。

また、ネグレクトや生理への無理解等の理由で親から生理用品を買ってもらえない児童・生徒がいるとも指摘されている。

こうした状況下、全国の自治体等で生理用品の無償提供を行う動きがひろがっており、本県内でも既に31の自治体が取り組みを開始したと聞いている。

本県としても、関係機関による生理用品の無償配布をはじめとした取り組みを迅速に実施すべきと考え、以下の3項目を要望する。

1. すべての県立学校の女性用トイレに生理用品を配備すること。
2. フードパントリーなど、生活困窮者へ支援を行う団体と連携し、生理用品の無償提供を進めること。また、その際は「ミモザマーク」の活用、ネット申請や郵送などの配慮も検討すること。
3. 生理用品の無償配布を実施する市町村を県として支援すること。

以上